

Doors



有限会社うえざと木工

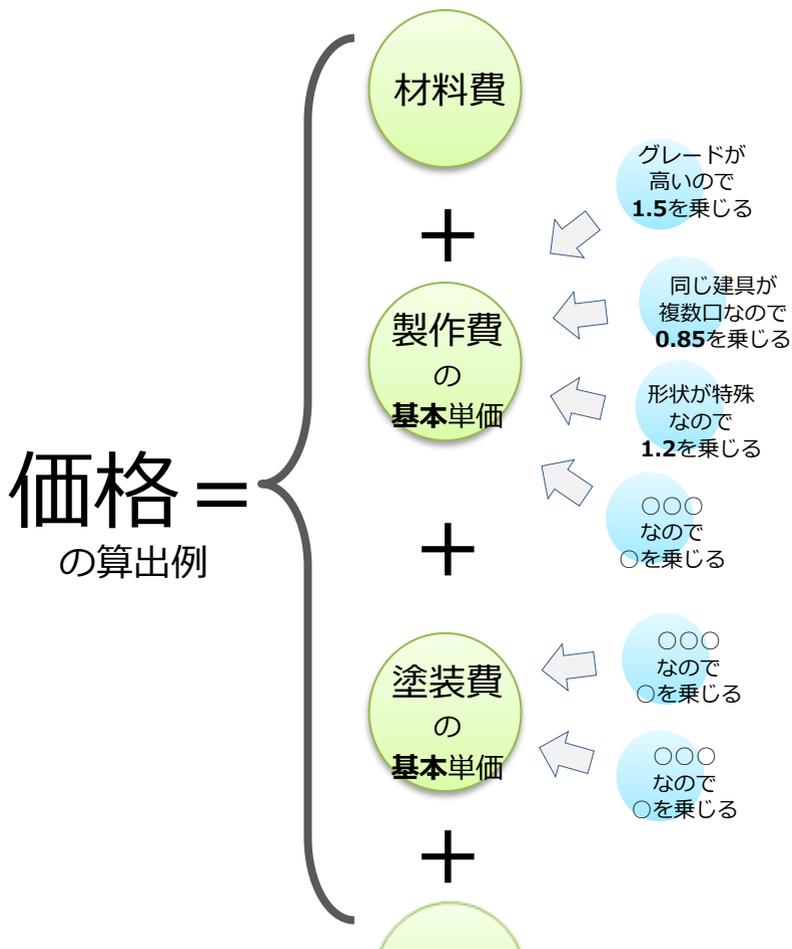
- 目 次 -

1. はじめに	1
2. インストールとアンインストール	
2-1. 必要な環境	2
2-2. インストール	3
2-3. アンインストール	3
3. 起動の手順	
3-1. 起動方法	4
3-2. ライセンス認証 (USBプロテクト)	4
4. コマンド	
4-1. ファイル	5
4-2. ホーム	6
4-3. 編集	7
4-4. ヘルプ	8
5. 入力と帳票作成	
5-1. 基本的な操作の流れ	9
5-2. 入力の色分け	10
5-3. 要項の入力	11
5-4. 見積項目の入力	12
5-5. 見積項目の [その他] と [追加] について	13
5-6. 各種帳票の作成	14
5-7. 帳票・表紙の編集 (ユーザーフォーマットの作成)	15
6. リスト・係数の設定	18
7. こんな時は	20
8. 巻末資料	
8-1. リスト・係数の設定 コマンド一覧表	22
8-2. 用語	26

1. はじめに

このソフトウェアは、建具や家具といった木工製品の製作にあたり、提出見積書や原価内訳書といった各種帳票の作成を目的としています。

材料費以外の製作費、塗装・取付・運搬費といった工賃は、あらかじめ設定された基本単価に対し、手間やグレードなどによって変わる各種係数を乗じることによって、自動的に算出されることが大きな特徴となっています。



2. インストールとアンインストール

2-1. 必要な環境

本製品を使用するには、以下の環境が必要となります。

対応OS	Microsoft Windows 8.1/10/11(日本語版) ^{※1}
必要ソフト	Microsoft Excel 2013-2021(日本語Windows版) ^{※2}
	PDF閲覧ソフト ^{※3}
ディスプレイ	解像度1024×768ピクセル以上(256色以上)
CPU	上記の必要ソフトが快適に動作するCPU
メモリ	上記の必要ソフトが快適に動作するメモリ
ハードディスク容量	インストール時に20MB以上の空き容量が必要
その他の必要機器	マウスなどのポインティングデバイス, 日本語キーボード
	CD-ROMドライブ(パッケージ版インストール時)
	USB2.0対応ポート(認証用プロテクト)

※1：64bit版OSにおいて、一部コンポーネントはWOW64エミュレーション環境にて動作します。「Microsoft Virtual PC」等の仮想

※2：Office Mobile版やストアアプリ版では動作しません。デスクトップアプリ版にのみ対応しています。

※3：ヘルプ機能として、電子化されたマニュアル(PDF)をご覧頂く際に必要です。

※ Microsoft Windows および Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

2-2. インストール

本製品のインストールは、以下の手順で行って下さい。

- ①他のアプリケーション(特にエクセル)が起動している場合は、全て終了させます。
- ②CD-ROMを挿入します。
- ③セットアップウィザードが自動的に起動します。(自動的に起動しない場合は、CD-ROM内の“DOORS_SETUP.EXE”を手動で起動して下さい。)
- ⑤セットアップウィザードが起動したら、指示に従い完了させます。



図:セットアップウィザード

※途中、使用許諾契約書が表示されますので、注意してお読みください。

2-3. アンインストール

Windowsが管理している「インストール済みアプリケーションの一覧^{※1}」から、本製品の名称(Doors)を選択してアンインストールを実行してください。



インストール・アンインストールには、OSの管理者権限が必要です、

※1: Windows のバージョンによって表示の手順や画面構成が異なります。
アンインストールの具体的な操作方法については、お使いの Windows のマニュアルをご確認ください。

3. 起動の手順

3-1. 起動方法

Windows のスタートメニューまたはデスクトップ上にある [Doors] のアイコン から起動します。

3-2. ライセンス認証(USBプロテクト)

本ソフトでは、不正コピーを防止し、正規ユーザー様の権利を擁護する目的で、USBプロテクトを使ったライセンス管理システムを採用しています。

USBプロテクトを装着せずに、本製品を起動すると、データファイルやマスターファイルの読み書きなど、一部機能が制限されます。

USBプロテクトは、本ソフトの起動時および使用中の間、常に装着しておく必要があります。



図：USBプロテクト

※ご購入の時期によって、
外観が異なる場合があります



使用の途中でUSBプロテクトを取り外すと、認証状態が解除され、編集中的数据を保存することができなくなりますので、絶対に取り外さないでください。



USBプロテクトは、ドライバレス仕様となっており、デバイスドライバファイルは必要ありません。また、USBドライバを取り外す際は、一般的なUSBメモリの場合と違い、OS側における「ハードウェアの安全な取り外し」作業は必要ありません。

4. コマンド

4-1. ファイル

[ファイル] では、データの読み書きや印刷に関する操作を行います。

クリックしてファイルメニューを開きます



新規作成

→見積データを新規に作成します。

開く

→既に保存されている見積データ (*.GDA) を開きます。

上書き保存

→現在編集中的の見積データを上書き保存します。一度も保存を行っていない見積データに対して本コマンドを実行すると、自動的に下記 [名前を付けて保存] が実行されます。

名前を付けて保存

→現在編集中的の見積データを新規に保存、もしくは名前を付け直して保存します。

印刷

→現在表示中の画面を印刷します。(一部の画面では、本機能を使用できません)

プレビュー

→現在表示中の画面をプレビューします。(一部の画面では、本機能を使用できません)

エクスポート - エクセルへエクスポート

→現在表示中の画面をExcel形式のファイル (*.xls) として保存します。

(一部の画面では、本機能を使用できません)

エクスポート - Kiinnovator用エクスポート

→データ内容から、別システム「Kiinnovator」

用に2つのCSVファイルを生成し、

エクスポートします。

環境設定

→プログラムの動作に関する各種

設定を行います。

閉じる

→プログラムを終了します。



図: 環境設定

4-2. ホーム

[ホーム] では、入力・帳票画面の移動や、画面表示方法の切り替えを行います。



要項

→工事名や見積書の宛名といった基本条件を入力するため、要項画面に移動します。

詳細については、[5-3. 要項の入力] をご覧下さい。

見積項目

→フラッシュ、框、障子、襖、その他 の建具の入力画面に移動します。

詳細については、[5-4. 見積項目の入力] をご覧下さい。

帳票作成

→入力した [要項] と [見積項目] を元に、各種帳票を作成します。

詳細については、[5-6. 各種帳票の作成] をご覧下さい。

4-3. 編集

【編集】では、コピー & 貼付や行の挿入・削除、リスト・係数の設定画面への移動を行います。



元に戻す

→直前の操作を元に戻します。ただし、操作の内容によっては、元に戻せないことがあります。

やり直し

→上記、[元に戻す]で行った操作を取り消します。

コピー

→選択しているセルをクリップボードに格納し、下記 [貼り付け] に備えます。(一部の画面では、本機能を使用できません)

貼り付け

→クリップボードの内容を選択セルに貼り付けます。(一部の画面では、本機能を使用できません)

行挿入

→選択している行の直前に、選択している行数に等しい行を挿入します。(一部の画面では、本機能を使用できません)

行削除

→選択している全ての行を削除します。(一部の画面では、本機能を使用できません)
※一度削除したデータを元に戻すことはできません。

係数・リストの設定 - 入力順に表示、属性別に表示

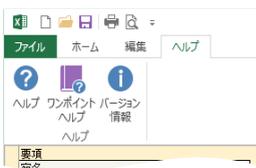
→計算に関わる単価、寸法、使用材種、材料・製作・寸法・取付・運搬係数、ロス率などのリストや係数を設定する画面に移動します。

※ [入力順に表示] では、例えば、フラッシュと枠で同じリストを使用している場合など、同じリストが重複している場合があります。

※ 詳細については、[6. リスト・係数の設定] および [8-1. リスト・係数の設定 コマンド一覧表] もご覧ください。

4-4. ヘルプ

[ヘルプ] では、ヘルプやバージョン情報を表示します。



ヘルプ

→本マニュアルの電子版(PDFファイル)を表示します。PDFファイルを表示するには、別途PDF閲覧ソフトが必要になります。([2-1. 必要な環境] 参照)

ワンポイントヘルプ

→是非知っておいてもらいたい、いくつかのポイントを抜粋して表示します。
本マニュアルと併せてご覧ください。

バージョン情報

→本ソフトのバージョン情報を表示します。

5. 入力と帳票作成

5-1. 基本的な操作の流れ

本ソフトウェアの基本的な操作は、次の3ステップで行います。

① 「要項」を入力

工事名称や宛名など、
基本的な項目を入力します。



② 「見積項目」を入力

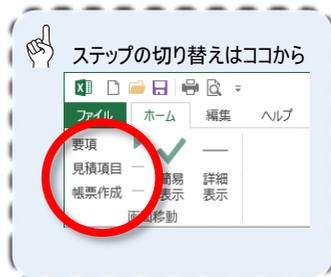
建具種別ごとに、入力を繰り返します。
対応する種別は、
フラッシュ、框、障子
襖、その他
の5種類です。



③ 「帳票」を自動作成

表紙、見積明細書、種別ごとの金物明細書
と建具ごとの金物明細書、原価内訳書、材
料調書、製作時間内訳書の合計7つの帳票
が作成されます。

それぞれの詳細については、次々ページ以降
をご覧ください。



5-2. 入力の色分け

画面中のセルは、以下のように色分けされています。

セル背景色による区分	必須入力	必ず入力しなければならないセルです。
	任意入力	オプション的な意味合いを持つ項目であり、必要に応じて入力します。
	訂正入力	計算された値を訂正したい場合に、必要に応じて入力します。
	入力不可(可変)	入力しないセルですが、他の入力項目によって状態が変化します。
	入力不可(固定)	入力しないセルです。主に計算された値などが表示されます。
右側罫線色による区分	キーボード入力	キーボードから手打ち入力します。 主に数値などを入力します。
	リスト利用可	[選択リスト] またはキーボードから手打ち入力します。
	間接的にリスト利用可	他のセルに設定されている [選択リスト] に連動して自動入力またはキーボードから手打ち入力します。
	リスト必須	必ず [選択リスト] から入力する必要があります。

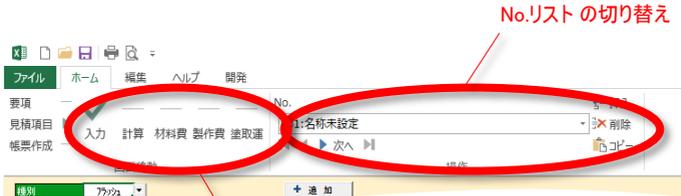


入力不可(可変)に入力を行うと、予期せぬ計算結果となる場合があるため、入力しないようご注意ください。

5-4. 見積項目の入力

建具や簡易的な家具などの詳細データの inputs は、[見積項目] から行います。

見積項目は、1データファイルにつき最大255ヶまで入力が可能で、画面上部の[No.リスト] から切り替えて順次入力していきます。

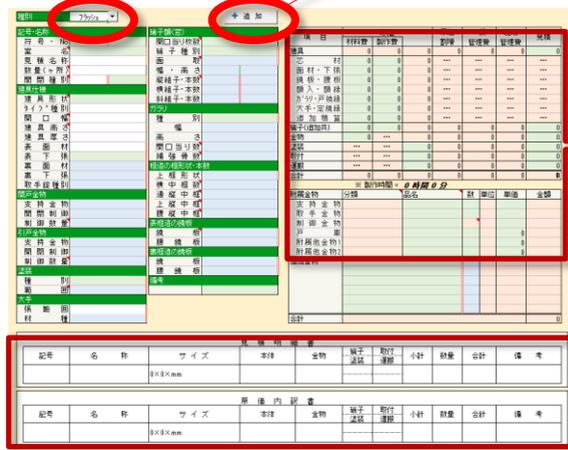


入力画面と計算結果確認画面の切り替え



建具種別を
フラッシュ / 扉 / 障子 / 襖 / その他
のいずれかから選択します

[追加]の入力画面に移動します(次頁参照)



計算結果が
表示されます

表示中No.の
見積明細書
と
原価内訳書
が表示されます

※画面はフラッシュ入力画面の場合

5-5. 見積項目の [その他] と [追加] について

本ソフトウェアでは、建具だけでなく、簡易的な家具の見積もりにも対応しています。

フラッシュ戸や框戸といった扉付きの家具の場合は、それぞれの扉種別に応じた入力画面にて扉部分の構成を入力したのち、各入力画面にある [追加] ボタンから、家具本体部分の構成を入力します。

家具の構成が複雑等の理由により、[追加] 画面だけでは入力しきれない場合や、そもそも扉部分が存在しない家具の場合は、種別として [その他] を選択し、家具本体部分の構成を入力します。

なお、符号・No・室名 を同じにしたデータを連続して作成する事で、見積書の作成時に合算した金額が表示されるようになります。

追加画面

符号・No・室名

[追加] ボタン

+ 追加修正

+ 追加

[追加] が入力されているかどうかボタンの色で判定できます

種別 [その他]

5-6. 各種帳票の作成

[要項] と全ての [見積項目] の入力が完了したら、各種帳票を作成することができます。

作成される帳票は、

表紙 / 見積明細 / 金物明細(種別) / 金物明細(建具)

原価内訳 / 材料調書 / 製作時間内訳

の7種類となります。

表示する帳票の切り替え



「表紙」は、会社情報や見積条件などを編集することができます。

それ以外の帳票は、編集することはできません。これらの帳票を編集したい場合は、ファイルメニューの [エクセルへエクスポート] (4-1. ファイル 参照) をご利用ください。

表紙や見積条件などは直接編集が可能です

図: 表紙の編集

5-7. 帳票・表紙の編集(ユーザーフォーマットの作成)

前頁で述べたとおり、作成される帳票の内 [表紙] だけは、ユーザーが編集を行うことができますが、用意された編集では足りない場合や、自社独自の様式に差し替えたいといった要望に応えるため、“ユーザーフォーマット”による表紙の差し替え機能を実装しています。

この“ユーザーフォーマット”は、エクセルを使って、ユーザーが自由に作成することができます。

“ユーザーフォーマット”による表紙の差し替えを行いたい場合は、以下の条件に基づいて作成してください。

- ① エクセルにより、シート構成が1つのブックを作成します。
- ② A, B列以外の部分に、表紙を作成します。文字列や罫線だけではなく、金額の合計や消費税の計算など、必要に応じた計算式も記述しておきます。
- ③ A, B列に、読込情報を作成します。(詳細は次頁参照)
- ④ マイドキュメントの [¥Doors¥UserFormat] フォルダに、作成したブックをxls形式で保存します。保存する際のブック名は、“GoodUserFormat.xls”とします。

A:B列には、
印刷範囲や
項目のセル
番地など、
読込条件を
記述します



C列以降に、
実際の表紙の
内容を作成します

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	請求項目	設定値											
2	印刷範囲	02:~025											
3	表紙セル	#E\$											
4	罫線セル	L4											
5	罫線項目セル	L4											
6	標準セル	E6			株式会社〇〇 御中								
7	標準項目セル	E6			工業名称 株式会社〇〇 御中								
8	読込セル	K41											
9	追加金額項目	10			金 0 円								
10	追加金額項目	24											
11	追加金額	E											
12	合計一消費税項目	27											
13	合計一消費税項目	39											
14	合計	E											
15	消費税	F											
16	標準	G											
17	標準	H											
18	標準	I											
19	標準	K											
20	標準	L											
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
40													
41													
42													
43													
44													
45													
46													
47													
48													
49													
50													
51													
52													
53													
54													
55													
56													
57													
58													
59													
60													
61													
62													
63													
64													
65													
66													
67													
68													
69													
70													
71													
72													
73													
74													
75													
76													
77													
78													
79													
80													
81													
82													
83													
84													
85													
86													
87													
88													
89													
90													
91													
92													
93													
94													
95													
96													
97													
98													
99													
100													

■ 読込情報の設定項目

設定項目	設定先	設定例	備考
印刷範囲	B2	D2:M45	コロンで区切った範囲を指定
表題セル	B3	F4	
見積Noセル	B4	L3	要項から出力されます
見積年月日セル	B5	L4	要項から出力されます
宛名セル	B6	E6	要項から出力されます
工事名称セル	B7	E8	要項から出力されます
値引セル	B8	K41	
追加文開始行	B9	10	
追加文終了行	B10	24	
追加文列	B11	E	
名称～適用開始行	B12	27	本体/金物/硝子/塗装/取付/運搬費用の出力分として、最低6行が必要です
名称～適用終了行	B13	39	
名称列	B14	E	
仕様(規格)列	B15	F	
数量列	B16	G	
単位列	B17	H	常に“一式”が出力されます
単価列	B18	J	
金額列	B19	K	項目毎の金額が出力されます
適用列	B20	L	

※設定先として結合セルを指定する場合は、先頭セルのアドレスのみを指定します。

※印刷範囲以外の項目は省略可能です。



マイドキュメントの [¥Doors¥UserFormat¥Template] フォルダに、ユーザーフォーマットのサンプルファイルがありますので、これを元にして作成すると便利です。



表紙内に画像(白黒)を配置することも可能です。(カラーの画像を配置した場合は、印刷時には白黒に変換して出力されます。)

マイドキュメントの [¥Doors¥UserFormat] フォルダに、“GoodUserFormat.xls”が存在すると、Doorsの起動時に自動的に読み込まれるようになります。

読み込み時には、以下の編集が加えられます。

- ① 入力・非入力領域の背景色が、所定の色に置き換えされます。
- ② 入力セル以外のセルは、ロック(保護)が設定されます。
- ③ “表題セル”には、入力規則により、既定の入力リスト(御見積書、御請求書、納品書)が設定されます。
- ④ “追加文”セルには、入力規則により、既定の入力リスト(見積条件リスト)が設定されます。
- ⑤ “名称”セルには、入力規則により、既定の入力リスト(見積項目名リスト)が設定されます。



ユーザーが設定した入力規則があるセルには、既定の入力リストは適用されません。

また、帳票作成時には、以下の編集が加えられます。

- ① “見積Noセル”に対して、要項で入力されたNoが“見積 第 ○ 号”のようにセットされます。
- ② “見積年月日セル”に対して、要項で入力された日付が、“平成○年○月○日”のようにセットされます。
- ③ “宛名セル”に対して、要項で入力された宛名と、環境設定で設定された敬称が、“<宛名><敬称>”のようにセットされます。
- ④ “工事名称セル”に対して、要項で入力された名称が“工事名称 ○○○”のようにセットされます。
- ⑤ “単位セル”に対して、“一式”がセットされます。(“名称セル”が空白の行を除く)
- ⑥ “金額セル”に対して、“名称セル”に対応した各金額がセットされます。

6. リスト・係数の設定

リスト・係数の設定画面は、全145画面と数多くあり、それぞれの画面に移動する方法として、以下の3通りの方法を用意しています。

- ① [編集] リボン (4-3. 編集 参照) からリスト画面に移動する方法
- ② シート上のジャンプ文字列から移動する方法
- ③ 入力リストから編集コマンドを実行する方法

①[編集] リボン からリスト画面に移動する方法

[編集] リボンのうち、[入力順に表示] または [属性別に表示] から、該当リストを選択してリスト画面に移動します。両者は、表示方法が違っただけであり、含まれるリストは共通です。

(どちらの表示方法からでも、全リストへの移動が可能です。)

なお、この方法によるコマンドは数が多いため、[8-1. リスト・係数の設定 コマンド一覧表] に取りまとめて表示しています。

②シート上のジャンプ文字列から移動する方法

計算内容の確認画面(“計算”、“材料費”、“製作費”、“塗取運”)や一部のリスト・係数設定画面では、計算根拠や参照先であるリスト・係数の設定画面へのジャンプ機能が実装されています。

ジャンプ機能が実装されているセルは、文字色が青色で表現されており、この文字をクリックする事で、関連設定画面に移動します。

青い文字をクリックすると、
関連設定画面にジャンプします

◆サイズ				計算
開口部1ヶ所の条件				
部材名称	項目	標準	結果	
開口部	Aa 開口幅	開口幅×1枚し+標準超の召合	800 mm=2.64尺	
	Ab 開口高さ		2,000 mm=6.6尺	
	Ac ヌ所建具枚数		1.0 枚/ヌ所	
建具サイズの計算(建具寸法の最小サイズは幅1尺×高さ1尺)				
部材名称	項目	標準	結果	
建具	幅	Ba 引き戸先枠の戸決り深さ	0 ヌ所/決り枠	0 mm
		Bb 引き戸戸尻枠掛り幅	0 ヌ所	0 mm
		Bc 開き戸幅カアラス(両側)		-10 mm
		Bd 開き戸定規縁(1枚)		-24 mm
		(仮)全枠幅の増減寸法計	$B\sigma = Ba + Bb + Bc - Bd$	-34 mm = -0.11 尺
		(仮)建具一枚幅	$B\Sigma = (Aa + B\sigma) / Ad$	766 mm = 2.53 尺
		(仮)定材標準幅サイズ		3,000 尺
	高さ	Ca 引き戸上下枠寸法		0 mm
		Cb 開き戸上下カアラス		-10 mm
		建具高さの増減寸法計	$C\sigma = Ca$ 又は Cb	
	建具一枚高さ			

③入カリストから編集コマンドを実行する方法

各入カリストの最下部には、[係数・リストの編集] コマンドが実装されています。

ここをクリックすることで、該当設定画面に移動することができます。

(この方法で編集することができない一部の入カリストでは、このコマンドはグレーアウトされています。)

種別		フラッシュ		端子線(空)	
記号・名称	No	WD	I	開口当り枚数	
符号		WD	I		
室名		洋室		D	
見録名称		フラッシュ		F	
数量(ヶ所)		1ヶ所		FD	
開閉種別		片開閉		FD	
建具仕様					
建具形状		矩形		FWS	
タイプ種別		フラッシュ		G	
開口幅		800mm		H	
建具高さ		2,000mm		HD	
建具厚さ		83mm		S	
表面材		天然木		SJ	
裏面材		天然木		TB	
取手錠種別		錠錠		W	
閉戸金物					
支持金物		住宅丁		WD	
開閉制御		ドアキー		WF	
制御数量				WG	
引戸金物					
支持金物				WS	
開閉制御				WSW	
制御数量				WW	
窓枠					
種別				WW	
範囲					
大宇					
張範囲		縦横		係数・リストの編集(E)	
材種		直材			

記号	名称
WD1	洋室 片開閉

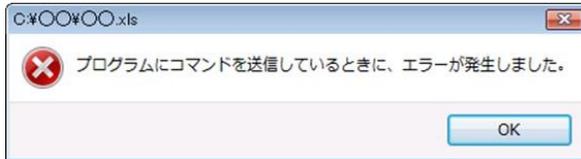
ここをクリックすると、
該当設定画面に
ジャンプします

7. こんな時は

- Q. 操作の途中で、以下のメッセージが表示されました。



- A. プログラム実行中に、ESCキーやCTRL+BREAKキーを押した場合、このメッセージが表示される場合があります。[継続]を押すことで、引き続き使用することができます。(終了を押すと、プログラムがフリーズするので、ご注意ください。)
- Q. Doorsの導入後、エクセルのデータファイルを開こうとすると、下記メッセージが表示されるようになりました。



- A. Doorsを起動中の場合に、他のエクセルブックをダブルクリックで開こうとすると、本メッセージが表示される場合があります。
- この場合、エクセルのファイルメニューから [開く] を実行することで、エクセルブックを開くことができます。
- Doorsを起動していないにも関わらず本メッセージが表示される場合は、前回起動したDoorsが、正常に終了していない可能性が考えられます。
- この場合、再度Doorsを起動してから正常終了させるか、または、下記の手順にて、エクセルの設定をし直してください。
1. Windowsのスタートメニューから、エクセルを起動
 2. [Excelのオプション]を開き、左側の[詳細]ペインの中にある[Dynamic Data Exchange(DDE)を使用する他のアプリケーションを無視する]のチェックをはずす

- Q. 起動しようすると、「実行に必要なExcelが見つかりませんでした。プログラムの起動には、Excel20xx/20xx/20xx のいずれかが必要です。」と表示されて、起動できません。
- A. [2-1. 必要な環境]をご覧の上、対応環境を満たしているかどうかご確認ください。
対応環境を満たしているにも関わらず、本メッセージが表示される場合は、エクセルが正常に動作していない可能性が考えられます。
Microsoft Excel（またはMicrosoft Office）の修復インストールを行うか、または再インストールをお試しください。
- Q. USBプロテクトを挿入しましたが、体験版として認識されてしまいます。
- A. まずお使いのソフトウェアが、体験版プログラムではないことをお確かめください。
（正規版プログラムとは別に、無料体験版プログラムをリリースしています。）
また、正規版プログラムを正規版モードで動作させるには、起動の前および使用の間、常にUSBプロテクトを装着しておく必要があります。
起動前からUSBプロテクトを装着していたにも関わらず、正規版プログラムが体験版モードになる場合は、USBポートまたはUSBプロテクトの物理的な破損が考えられます。USBプロテクトの破損が疑われる場合は、販売元にご相談ください。
（他のパソコンでも同様の現象が再現するかどうかによって、実際に破損しているかどうかの目安となります。）
- Q. 間違ってデータを上書きしてしまいました。
- A. データファイルおよびマスターファイルの保存時、古いファイルをバックアップとして保存するようになっています。バックアップファイルは、保存ファイルと同じフォルダ内に作成され、ファイル名は、“<保存名>.BAK”となっています。
古いファイルを再使用したい場合は、バックアップファイルの拡張子を*.GDAに変更する事で、Doors から開くことができるようになります。
- Q. 使用パソコンを変更する際に、マスターファイルやデータファイルを移設したい。
- A. マスターファイルやデータファイルは、マイドキュメントの [¥Doors] フォルダに格納されています。このフォルダを、移設先のパソコンの同じ場所にコピーすることにより、引継ぎが可能です。
※データファイルを保存する際に、保存先フォルダを変更した場合は、個別に移設を行ってください。

8. 巻末資料

8-1. リスト・係数の設定 コマンド一覧表

■[入力順に表示] のコマンド

<ul style="list-style-type: none"> 要項 <ul style="list-style-type: none"> 宛名・提出価格ランク 工事種別・建物グレード <ul style="list-style-type: none"> 工事種別・建物グレード 芯工法 <ul style="list-style-type: none"> 芯工法 中骨・芯材 開戸丁番取付 両開戸定規縁 出合框 硝子止 周囲縁隅丸 框張仕様 額縁仕様 建物用途分類(錠取手) <ul style="list-style-type: none"> 開戸戸当りタイプ マスターキーシステム 現場までの時間距離 運搬条件 フラッシュ <ul style="list-style-type: none"> 記号・名称 <ul style="list-style-type: none"> 符号 室名 見積名称 数量 <ul style="list-style-type: none"> 建具数量 定規縁数量 開閉種別 <ul style="list-style-type: none"> 開閉種別 開閉種別による フラッシュおよび 框の付属金物 建具仕様 <ul style="list-style-type: none"> 建具形状 タイプ種別 開口幅・建具高 <ul style="list-style-type: none"> 建具サイズ 襖サイズ 建具厚さ 表・裏面材 <ul style="list-style-type: none"> 合板 表具 表・裏下張 取手錠種別 開戸金物 <ul style="list-style-type: none"> 支持金物 開閉制御 引戸金物 <ul style="list-style-type: none"> 支持金物 <ul style="list-style-type: none"> 支持金物 支持金物別による 戸車 開閉制御 塗装 <ul style="list-style-type: none"> 種別 	<ul style="list-style-type: none"> 大手 <ul style="list-style-type: none"> 大手張範囲 大手材種別 硝子額(窓) <ul style="list-style-type: none"> 枚数 種別・面取 幅・高さ 組子 <ul style="list-style-type: none"> 組子 組子の材料種別 縦横組子本数 斜め組子本数 ガラリ <ul style="list-style-type: none"> 種別 幅 高さ 数 <ul style="list-style-type: none"> 枚数 ヶ所枚数 補強骨数 框造の框形状・本数 <ul style="list-style-type: none"> 上框形状 横・通縦・上縦 ・腰縦中框数 表・裏框造の鏡板 鏡板・腰鏡板 追加金物 <ul style="list-style-type: none"> 開戸用 引戸用 框 <ul style="list-style-type: none"> 記号・名称 <ul style="list-style-type: none"> 符号 室名 見積名称 数量 <ul style="list-style-type: none"> 建具数量 定規縁数量 開閉種別 <ul style="list-style-type: none"> 開閉種別 開閉種別による フラッシュおよび 框の付属金物 建具仕様 <ul style="list-style-type: none"> 建具形状 鏡板種別 框・鏡板材種 取手錠種別 開戸金物 <ul style="list-style-type: none"> 支持金物 開閉制御 	<ul style="list-style-type: none"> 引戸金物 <ul style="list-style-type: none"> 支持金物 <ul style="list-style-type: none"> 支持金物 支持金物別による 戸車 開閉制御 塗装 <ul style="list-style-type: none"> 塗装 種別 硝子額(窓) <ul style="list-style-type: none"> 種別・面取 個所当り数量 硝子小枠 幅・高さ 棧 <ul style="list-style-type: none"> 中棧本数 中棧交点数 斜め棧本数 斜め棧交点数 ガラリ <ul style="list-style-type: none"> 種別 幅 高さ 数 框形状・本数 <ul style="list-style-type: none"> 上框形状 横・通縦・上縦 ・腰縦中框数 パネル仕様 <ul style="list-style-type: none"> 表面材・芯材 裏面材 他仕様 <ul style="list-style-type: none"> 額縁種別 面型種別 ほぞ枚数 追加金物 <ul style="list-style-type: none"> 開戸用 引戸用
---	---	---

障子

- 記号・名称
 - 符号
 - 室名
 - 見積名称
 - 数量
 - 建具数量
 - 定期線数量
 - 開閉種別
- 建具仕様
 - 障子種別
 - 開口幅・建具高さ
 - 框材種
 - 組子
 - 力子
 - 組子交点
- 開戸金物
 - 支持金物
 - 取手金物
- 引戸金物
 - 支持金物
 - 支持金物
 - 支持金物別による
 - 取手金物
- 取手金物
- 塗装
 - 種別
- 額
 - 硝子種別
 - 個所当り数量
 - 硝子小枠
 - 摺り上げ
 - 幅・高さ
- 腰板
 - 内法高さ
 - 合板表・裏、芯材
 - 材種
- 他仕様
 - 付子隅丸
 - 面型種別
 - 腰板隅丸
 - ほぞ枚数
- 追加金物
 - 開戸用
 - 引戸用

- 周囲縁塗装
 - 種別
- 中抜
 - 種別
 - 障子紙
 - 横・縦組子
 - 棧交点数
- スリット
 - 横・縦棧本数
- 他仕様
 - 襖床種別
 - 襖床種別
 - 合板
 - 直材
 - 表具
 - 襖床芯材
 - 周囲縁種別
 - 周囲縁隅丸
 - 中抜隅丸
 - 召合周囲縁
 - 出合縁形状
- 追加金物
 - 開戸用
 - 引戸用

- 直材・練付材
 - 部材名
 - 部材形状
 - 用途
 - 練付面数
 - 材種名
 - 塗装種別
- フラッシュパネル
 - 部材名
 - 部材形状
 - 材種 表・裏
 - 小口処理種別
 - 小口処理範囲
 - 塗装種別
- 他材料
 - 材料名
- 引き出し
 - 形状
 - 鍵
 - 取手
 - レール
 - 鍵・取手・レール単価
- 硝子
 - 硝子止
 - 材料名

その他

- 記号・名称
 - 符号
 - 室名
 - 見積名称
 - 数量
 - 単位
 - 種別
- 寸法・仕様
 - 形状
 - 設置
 - 小口
 - 材料名
- 塗装
 - 種別
- 直材
 - 部材名
 - 形状
 - 用途
 - 練付
 - 材種
- フラッシュパネル
 - 部材名
 - 形状
 - 面材 表・裏
 - 小口
- 付属金物
 - 金物

- 寸法関連
 - 諸材料の重量
 - 重量による取付
 - ・運搬係数
 - 合板の面積変換率 (尺→m)
 - 合板の板取り
 - 長材・板材の判定、幅
 - 諸寸法(共通)
 - 諸寸法・材種
 - ・ロス率(フラッシュ)
 - 諸寸法・ロス率(框)
 - 諸寸法・ロス率(障子)
 - 諸寸法・ロス率(襖)
 - 諸寸法・材種
 - ・ロス率(引き出し)

- 副資材関連
 - フラッシュの副資材設定
 - 副資材リスト

- 製作・取付・運搬関連
 - 基本単価(共通)
 - 基本時間(フラッシュ)
 - 框・障子その他(追加)
 - 基本時間(フラッシュ・框・障子)
 - 基本時間(フラッシュ)
 - 基本時間(框)
 - 基本時間(障子)
 - 基本時間(襖)
 - 基本時間・単価(その他)
 - 基本時間(追加)

- 見積書関連
 - 見積条件
 - 見積項目名称

襖

- 記号・名称
 - 符号
 - 室名
 - 見積名称
 - 数量
 - 開閉種別
- 建具仕様
 - 開口幅・建具高さ
 - 建具サイズ
 - 襖サイズ
 - 量産襖種別
 - 表具 表・裏
- 開戸金物
 - 支持金物
 - 取手金物
- 引戸金物
 - 支持金物
 - 支持金物
 - 支持金物別による
 - 取手金物

追加

- 合板類
 - 部材名
 - 部材形状
 - 用途
 - 材料名
 - 塗装種別

■[属性別に表示] のコマンド

文字リスト

- 符号
- 室名
- 見積名称(建具)
- 見積名称(その他)
- 単位(その他)
- 部材名(追加)
- 見積条件
- 見積項目名称

一般材料リスト

- 合板
- 直材
- コア芯材
- ガラリ
- 表具
- 襖縁
- 量産襖
- 障子紙
- 硝子
- 硝子止
- 塗装
- 副資材
- 追加材料(追加)

金物材料リスト

- 開閉付属金物
- 開戸支持金物
- 開戸開閉制御金物
- 開戸戸当り金物
- 開戸用追加金物
- 引戸支持金物
- 引戸開閉制御金物
- 引戸車金物
- 引戸用追加金物
- 取手錠
- マスターキーシステム
- 追加金物(その他)
- 引出付属金物(追加)

要項リスト

- [宛名・提出価格ランク] による一般管理費率・経費率
- [工事種別・建物グレード] による現場管理費率・建具基本仕様
- [芯工法] による材種・製作係数
- [丁番の取付方法] による取付係数
- [両開戸定規縁] の材種・寸法・ロス率・製作係数
- [出合框種別] による製作係数
- [周囲縁隅丸の有無] による製作係数
- [框張仕様] による製作係数
- [額縁種別] による製作係数
- [現場までの時間距離] による取付・運搬係数
- [運搬条件] による運搬係数

共通リスト

- 合板サイズ・見付見込寸法
- 合板の面積変換率(尺→m)
- 諸材料の重量
- 諸寸法(共通)
- [開閉種別] による取付時間
- ・付属金物
- [重量] による取付・運搬係数
- [製作・取付・運搬費] の製作基本単価(共通)
- [合板・パネル・直材・硝子・シーリング] の製作基本時間
- [ガラリ・定規縁] の製作基本時間

フラッシュリスト

- [建具数量] による製作・取付係数
- [定規縁数量] による製作係数
- [縦横組子本数] による製作係数
- [斜め組子本数] による製作係数
- [大手材種別] の寸法・製作係数
- [大手張範囲] による製作係数
- [ガラリ枚数] による製作係数
- [ガラリ箇所枚数] によるガラリの製作係数
- [補強骨数] による芯材の製作係数
- [額枚数] による額の製作係数
- [中框本数] による製作係数
- [建具サイズ] による製作係数
- [建具厚] による製作係数
- [額サイズ] による製作係数
- [戸襖ガラリ] による材料係数
- [ガラリ幅] によるガラリの製作係数
- [ガラリ高] によるガラリの製作係数
- [建具形状] による製作係数
- [上框形状] による製作係数
- [建具タイプ] による製作係数
- [組子] の材種・寸法・ロス率・製作係数
- [パネル芯材] の材種・寸法・ロス率
- [芯材の部位] による寸法・ロス率
- [大手・額縁直材] の材種・寸法・ロス率
- 副資材
- [部位種別] による製作基本時間

框リスト

- [建具数量] による製作・取付係数
- [定規縁数量] による製作係数
- 硝子枠数 による製作係数
- [中框本数] によるパネル・額縁の製作係数
- [中框交点数] による製作係数
- [斜め棧本数] による製作係数
- [斜め棧交点数] による製作係数
- [中框本数] による製作係数
- [ほぞ枚数] による框の製作係数
- [ガラリ箇所枚数] によるガラリの製作係数
- [硝子枠サイズ] による製作係数
- [ガラリ幅] による製作係数
- [ガラリ高さ] による製作係数
- [建具形状] による製作係数
- [上框形状] による製作係数
- [鏡板種別] による框見付の寸法係数
- ・製作時間
- [硝子小枠種別] による製作係数
- [額縁種別] による直材鏡板の寸法・ロス率・製作係数
- [框部材] の寸法・ロス率
- [框部位] による製作基本時間

障子リスト

- [建具数量] による製作・取付係数
- [定規縁数量] による製作係数
- [組子交点数] による製作係数
- [組子本数] による製作係数
- [力子本数] による製作係数
- [硝子枠数] による製作係数
- [ほぞ枚数] による障子の製作係数
- [建具サイズ] による組子と付子の製作係数
- [硝子枠サイズ] による小枠と摺上の製作係数
- [硝子枠種別] による製作係数
- [摺上枠種別] による製作係数
- [付子隅丸の有無] による製作係数
- [腰板隅丸の有無] による障子の製作係数
- [腰棧の有無] による障子の製作係数
- [直材] の寸法・ロス率
- [部位] による製作基本時間

襖リスト

- [建具数量] による製作・取付係数
- [中抜き棧数] による製作係数
- [中抜き交点数] による製作係数
- [スリット棧数] による製作係数
- [襖サイズ] による材料係数
- [出合縁形状] による製作係数
- [中抜き・スリット] の材種・製作係数
- [襖床種別] の材種・寸法・ロス率・製作係数
- [付子隅丸の有無] による製作係数
- [周囲縁隅丸の有無] による製作係数
- [召合周囲縁種別] による製作係数
- [襖縁・骨] の寸法ロス率
- [部位] による製作基本時間

その他リスト

- [その他数量] による製作・取付係数
- [パネル形状] による製作係数
- [直材形状] による製作係数
- [全体形状] による製作係数
- [直材用途] による寸法・ロス率・製作係数
- [直材練付] による材料係数
- [設置条件] による取付・運搬係数
- [パネル小口処理種別] による材料単価・製作時間
- [パネル小口処理範囲] による大手長さ計算式
- [その他種別] による製作・取付基本時間・運搬単価
- 長材・板材の判定、幅

追加リスト

- [引出部材] の材種・寸法・ロス率
- [パネル形状] による製作係数
- [直材形状] による製作係数
- [合板形状] による製作係数
- [引出形状] による製作時間
- [合板用途] による製作係数
- [直材用途] による寸法・製作係数
- [直材練付] による材料係数
- [取手種別] による製作係数
- [レール種別] による製作係数
- [鍵種別] による製作係数
- [パネル小口処理種別] による材料単価・製作時間
- [パネル小口処理範囲] による大手長さ計算式
- [重量] による取付基本時間
- 長材・板材の判定、幅

8-2. 用語

本ソフトウェアで使われる用語のうち、補足が必要と思われる用語について解説いたします。

額入	小さな硝子窓(光取り用など)の枠
額縁	フラッシュを框造り風に見せるため又は框をより豪華に見せるための装飾
建具落込 (オトシヨミ)	同上
ヶ所当り枚数	設置箇所1ヶ所当りの枚数
開口当り枚数	同上
建具枚数	ヶ所当りの建具の枚数。例えば両開きの建具であれば2枚となる
つば	障子際組子 のこと。
付子	同上

本ソフトに関するご質問は、下記までお問い合わせ下さい。

有限会社 うえざと木工

URL <https://www.uezato-wood-work.com>

MAIL higashi@isis.ocn.ne.jp

Tel 0980 (83) 3028 平日 8:30～17:30

Doors専用サイト

URL <https://www.doors-next.com>